

アフガニスタン： 国連、事実上の当局にメディアの自由の確保を促す

2024/11/26

国連人権高等弁務官事務所

国連人権オフィスと国連アフガニスタン支援団（UNAMA）が本日発表した共同[報告書](#)（2021年8月15日から2024年9月30日までの期間）は、タリバンが政権を握って以来、同国のメディアが懸念される状況にあることを示している。報告書は、アフガニスタンのジャーナリストやメディア関係者、特に女性は、検閲や情報へのアクセス制限がますます厳しくなる環境下で活動していると指摘している。報告期間中だけでも、メディア関係者の恣意的な逮捕・拘束256件、拷問や虐待130件、脅迫や威嚇75件が特定されており、その多くは、当局に対する批判を行ったとみなされたことによるものだ。当局が課したいいわゆる「レッドライン」を越えたとみなされた報道関係者は、適正な手続きを経ることなく、数時間から数カ月にわたって恣意的に拘束され、一部は有罪判決を受けて投獄された。こうした極めて困難な状況下で活動を続けているジャーナリストやメディア関係者は、報道の可否に関する不明瞭なルールや、時に直面する脅迫などにより、自主的に報道内容を検閲せざるをえない状況に追い込まれている。